

# 令和4年度第1回 始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議（書面開催）

開催日時 令和4年12月13日（火）

## 会 次 第

### 1 協議事項

#### (1) 2025年に向けた具体的対応方針について

- 寺田病院 <資料1>
- 大口温泉リハビリテーション病院 <資料2>
- 整形外科松元病院 <資料3>
- 水間病院 <資料4>

#### ～参考資料～

**参考資料1** 始良・伊佐保健医療圏の概要等，病床機能報告制度について

**参考資料2** 地域医療構想 具体的対応方針に関する協議状況（令和4年8月現在）  
療養病床を有する病院一覧

始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部



# 始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議 委員名簿

【令和4年5月31日現在】

	所 属	職 名	氏 名
1	始良地区医師会	会 長	佐 藤 昭 人
2	伊佐市医師会	会 長	水 間 良 裕
3	始良地区歯科医師会	会 長	竹ノ内 哲
4	始良地区薬剤師会	会 長	山 崎 貴
5	鹿児島県看護協会	始良・伊佐地区長	寺 師 真 理 子
6	霧島市	市 長	中 重 真 一
7	始良市	市 長	湯 元 敏 浩
8	湧水町	町 長	池 上 滝 一
9	伊佐市	市 長	橋 本 欣 也
10	県立北薩病院	院 長	小 寺 顕 一
11	霧島市立医師会医療センター	院 長	河 野 嘉 文
12	加治木温泉病院	院 長	夏 越 祥 次
13	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	院 長	久 保 田 伊 知 郎
14	隼人温泉病院	院 長	岩 城 政 秋
15	医療法人 栄和会 (寺田病院)	理 事 長	寺 田 步
16	全国小規模多機能 居宅介護事業者連絡会	副 代 表	黒 岩 尚 文
17	鹿児島県保険者協議会	副 会 長 (南日本銀行健康保険 組合常務理事)	本 田 親 則
18	始良・伊佐地域振興局 保健福祉環境部 (始良保健所兼大口保健所)	部 長 (所 長)	松 岡 洋 一 郎



令和4年12月13日（火）  
令和4年度第1回始良・伊佐保健医療圏  
地域医療構想調整会議（書面開催）

<資料1>

**【協議事項1】**

2025年に向けた具体的対応方針について

（寺田病院）



# 〇始良・伊佐保健医療圏 2025年に向けた計画書

病院用

医療機関名

医療法人 栄和会 寺田病院

## 1 計画書の概要(地域医療構想調整会議での説明要旨)

現在、急性期疾患を中心に地域医療を担っています。診療科は内科・外科・整形外科・耳鼻咽喉科であり、病床数は98床(その内に地域包括ケア病床が23床)であります。また、血液透析75名も行っています。今後は救急医療提供体制を強化すると共に、地域の医療・介護施設及び高次医療機関との連携強化をはかり、患者受け入れに積極的に取り組むつもりです。

## 2 自施設の現状

### (1)自施設の理念、基本方針

やさしさと思いやりの心で、質の高い信頼される医療をめざし、地域とともに歩きます。

### (2)令和3年度の診療実績

	全体 (98)床	一般病床 (98)床	療養病床 ( )床
病床稼働率 (%)	82.5%	82.5%	
平均在棟日数 (日)	19.4	19.4	

令和4年度病床機能報告で報告予定の診療実績  
(令和3年4月～令和4年3月分)を記載してください。

## 3 病床機能別病床数

### (1)現状と今後の方針

令和4年度病床機能報告の報告予定数を記載してください。

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		介護保険施設等	計
					今後再開予定	今後廃止予定		
現在 (R4.7.1)		98						98

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟予定	廃止予定	介護保険施設等	計
将来 (2025.7.1)		98						98

### (参考)現在の療養病床数

	介護療養病床	医療療養病床		計
		経過措置適用※ を届け出ている	左記以外	
現在 (R4.7.1)				

※経過措置:療養病棟入院基本料等の経過措置適用

**(2)入院基本料・特定入院料による分類及び一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」の患者割合**

※この表は病棟ごとに記載してください。有床診療所の場合は入院料等の区分が異なるためこの表の記載は不要です。

病棟機能	高度急性期	急性期			回復期			慢性期		
		2階病棟 (50床)		4階病棟						
病棟名										
病床数		27	23	48						
入院基本料・特定入院料 (R3年度病床機能報告)		(急1)(回7)	(急1)							
「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」の患者割合 (%)		-	-	-						
「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」の患者割合 (%)		23.1	13.9	16.6						
平均在棟日数		17.9	66.1	20.9						

病棟名、病床名を記載してください。  
(例)急性期100床の場合  
(1階病棟 30床急1 20床回7)  
(2階病棟 50床急1)

「Ⅰ」から番号を選択して記載してください。

Ⅱを選択した場合は、こちらに記載

＜定量的基準概要(病院)＞

① 入院基本料・特定入院料に応じて医療機能を選択

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
(高1)救命救急入院料1~4	(急1)急性期一般入院料1~7	(回1)地域一般入院料1~3	(慢1)療養病棟入院料1~2
(高2)特定集中治療室管理料1~4	(急2)特定機能病院一般病棟7対1・10対1入院基本料	(回2)一般病棟特別入院基本料	(慢2)療養病棟特別入院基本料
(高3)ハイケアユニット入院医療管理料1~2	(急3)専門病院7対1・10対1入院基本料	(回3)専門病院13対1入院基本料	(慢3)障害者施設等7・10・13・15対1入院基本料
(高4)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(急4)小児入院医療管理料2~3	(回4)小児入院医療管理料4~5	(慢4)特殊疾患入院医療管理料
(高5)小児特定集中治療室管理料		(回5)回復期リハビリテーション病棟入院料1~6	
(高6)新生児特定集中治療室管理料1~2		(回6)地域包括ケア病棟入院料1~4	
(高7)総合周産期特定集中治療室管理料		(回7)地域包括ケア入院医療管理料1~4	
(高8)新生児治療回復室入院医療管理料		(回8)緩和ケア病棟入院料1	(慢5)緩和ケア病棟入院料2
(高9)小児入院医療管理料1		(回9)特定一般病棟入院料1~2	(慢6)特殊疾患病棟入院料1~2

② 上記①で急性期に分類された場合、以下に該当する時は高度急性期を選択

一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」が、「Ⅰ:56%以上」、「Ⅱ:40%以上」

③ 上記①②で高度急性期、急性期に分類された場合、以下に該当する時は、回復期、慢性期のいずれかを選択

高度急性期及び急性期に関連する医療行為(別紙参照)を全く提供していない

**4 医療機関の役割**

令和4年度、2025年度に担う役割(該当する項目に○印を記入してください)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	離島・へき地医療	周産期医療	小児・小児救急医療	在宅医療	その他
令和4年度	○			○		○						
2025年度	○			○		○						

**5 今後のスケジュール**

年度	取組内容	介護保険事業計画
令和4(2022)年度	(記入例)急性期20床を回復期へ転換、地域医療介護総合確保基金申請	8期 ↓ 9期
令和5(2023)年度		
令和6(2024)年度	(記入例)慢性期20床を介護医療院へ転換	
令和7(2025)年度		

\* 介護保険施設等への病床転換を予定している医療機関は、市町村等との協議予定等についても記載してください

**6 その他**

県立病院が対応困難な疾患(整形外科・外科)への対応可能な施設として事業継続の必要があり、また地域医療機関の減数も予想されるため、今後ますます連携、統合が必要であると考えています。



令和4年12月13日（火）  
令和4年度第1回始良・伊佐保健医療圏  
地域医療構想調整会議（書面開催）

<資料2>

**【協議事項1】**

2025年に向けた具体的対応方針について  
（大口温泉リハビリテーション病院）



# 〇始良・伊佐保健医療圏 2025年に向けた計画書

病院用

医療機関名

医療法人社団隼仁会 大口温泉リハビリテーション病院

## 1 計画書の概要(地域医療構想調整会議での説明要旨)

(記入例)

- 現在、急性期医療を担っている。引き続き、救急医療提供体制を強化し、地域の医療機関からの患者受け入れ等に積極的に取り組みたい。
- 現在、慢性期医療を中心に担っているが、将来は介護医療院への転換を予定している。(現在、慢性期病床50床だが、将来は介護医療院へ30床程度転換予定)
- 現在、急性期医療と回復期医療を担っているが、将来は、ADLの向上や在宅復帰を目的とした回復期リハビリテーションの強化を図りたい。(急性期から回復期へ10床程度転換予定)

現在、医療療養病床97床を保有している。地域にある急性期・回復期病床・地域包括病床からは対応入院期間の限界に伴う治療継続困難と介護保険施設への移行を目的とした紹介が途絶えることがない状況に加え、当院がかかりつけの在宅患者や併設する介護保険施設からの救急入院もあることから、現段階では同病床数を維持することが必要であり、地域のニーズに対する適切な対応であると考えられる。

## 2 自施設の現状

### (1)自施設の理念、基本方針

予防と長期ケアの確立

### (2)令和3年度の診療実績

	全体 ( 97 ) 床	一般病床 ( ) 床	療養病床 ( 97 ) 床
病床稼働率 (%)	99.7%		99.7
平均在棟日数 (日)	159.1		159.1

令和4年度病床機能報告で報告予定の診療実績  
(令和3年4月～令和4年3月分)を記載してください。

## 3 病床機能別病床数

### (1)現状と今後の方針

令和4年度病床機能報告の報告予定数を記載してください。

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		介護保険施設等	計
					今後再開予定	今後廃止予定		
現在 (R4.7.1)				97				

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟予定	廃止予定	介護保険施設等	計
将来 (2025.7.1)				97				

### (参考)現在の療養病床数

	介護療養病床	医療療養病床		計
		経過措置適用※ を届け出ている	左記以外	
現在 (R4.7.1)			97	97

※経過措置:療養病棟入院基本料等の経過措置適用

## (2)入院基本料・特定入院料による分類及び一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」の患者割合

※この表は病棟ごとに記載してください。有床診療所の場合は入院料等の区分が異なるためこの表の記載は不要です。

病棟機能	高度急性期		急性期		回復期		慢性期	
	1病棟	2病棟	1病棟	2病棟	1病棟	2病棟	1病棟	2病棟
病棟名								
病床数							52	45
入院基本料・特定入院料 (R3年度病床機能報告)							慢1	慢1
「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」の患者割合 (%)								
「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」の患者割合 (%)								
平均在棟日数								

病棟名、病床名を記載してください。  
(例)急性期100床の場合  
(1階病棟 30床急1 20床回7)  
(2階病棟 50床急1)

「定量的基準概要(病院)」  
①から番号を選択して記載してください。

Ⅱを選択した場合は、こちらに記載

### 「定量的基準概要(病院)」

#### ① 入院基本料・特定入院料に応じて医療機能を選択

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
(高1)救命救急入院料1~4	(急1)急性期一般入院料1~7	(回1)地域一般入院料1~3	(慢1)療養病棟入院料1~2
(高2)特定集中治療室管理料1~4	(急2)特定機能病院一般病棟7対1・10対1入院基本料	(回2)一般病棟特別入院基本料	(慢2)療養病棟特別入院基本料
(高3)ハイケアユニット入院医療管理料1~2	(急3)専門病院7対1・10対1入院基本料	(回3)専門病院13対1入院基本料	(慢3)障害者施設等7・10・13・15対1入院基本料
(高4)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(急4)小児入院医療管理料2~3	(回4)小児入院医療管理料4~5	(慢4)特殊疾患入院医療管理料
(高5)小児特定集中治療室管理料	(急5)小児入院医療管理料1~2	(回5)回復期リハビリテーション病棟入院料1~6	(慢5)緩和ケア病棟入院料2
(高6)新生児特定集中治療室管理料1~2	(急6)小児入院医療管理料1~4	(回6)地域包括ケア病棟入院料1~4	(慢6)特殊疾患病棟入院料1~2
(高7)総合周産期特定集中治療室管理料	(急7)小児入院医療管理料1~4	(回7)地域包括ケア入院医療管理料1~4	
(高8)新生児治療回復室入院医療管理料	(急8)小児入院医療管理料1	(回8)緩和ケア病棟入院料1	
(高9)小児入院医療管理料1	(急9)小児入院医療管理料1~2	(回9)特定一般病棟入院料1~2	

#### ② 上記①で急性期に分類された場合、以下に該当する時は高度急性期を選択

一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」が、「Ⅰ:56%以上」、「Ⅱ:40%以上」

#### ③ 上記①②で高度急性期、急性期に分類された場合、以下に該当する時は、回復期、慢性期のいずれかを選択

高度急性期及び急性期に関連する医療行為(別紙参照)を全く提供していない

## 4 医療機関の役割

令和4年度、2025年度に担う役割(該当する項目に○印を記入してください)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	離島・へき地医療	周産期医療	小児・小児救急医療	在宅医療	その他
令和4年度	○	○	○	○		○						○
2025年度	○	○	○	○		○						○

## 5 今後のスケジュール

年度	取組内容	介護保険事業計画
令和4(2022)年度	(記入例)急性期20床を回復期へ転換、地域医療介護総合確保基金申請 現状維持	8期 ↓ 9期
令和5(2023)年度	現状維持	
令和6(2024)年度	(記入例)慢性期20床を介護医療院へ転換 現状維持	
令和7(2025)年度	現状維持	

\* 介護保険施設等への病床転換を予定している医療機関は、市町村等との協議予定等についても記載してください

## 6 その他

(記入例)介護療養病床20床を介護医療院へ転換するか、A病棟30床を介護医療院へ転換するか検討中である。

令和4年12月13日（火）  
令和4年度第1回始良・伊佐保健医療圏  
地域医療構想調整会議（書面開催）

<資料3>

**【協議事項 1】**

2025年に向けた具体的対応方針について

（整形外科松元病院）



# 〇始良・伊佐保健医療圏 2025年に向けた計画書

病院用

医療機関名

整形外科松元病院

## 1 計画書の概要(地域医療構想調整会議での説明要旨)

・現在、急性期医療と回復期医療を担っているが、将来は、よりADLの向上や在宅復帰を目的とした回復期リハビリテーションの充実を図りたい。

## 2 自施設の現状

### (1)自施設の理念, 基本方針

本院は、病気だけでなく、その個人に本当に必要な医療・福祉サービスを考え、心を込めて奉仕します。

### (2)令和3年度の診療実績

	全体 (72)床	一般病床 (36)床	療養病床 (36)床
病床稼働率 (%)	84.3%	82.7%	85.4
平均在棟日数 (日)	45	18	50

令和4年度病床機能報告で報告予定の診療実績  
(令和3年4月～令和4年3月分)を記載してください。

## 3 病床機能別病床数

### (1)現状と今後の方針

令和4年度病床機能報告の報告予定数を記載してください。

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		介護保険施設等	計
					今後再開予定	今後廃止予定		
現在 (R4.7.1)		36	36					72

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟予定	廃止予定	介護保険施設等	計
将来 (2025.7.1)		36	36					72

### (参考)現在の療養病床数

	介護療養病床	医療療養病床		計
		経過措置適用※ を届け出ている	左記以外	
現在 (R4.7.1)			36	

※経過措置:療養病棟入院基本料等の経過措置適用

**(2)入院基本料・特定入院料による分類及び一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」の患者割合**

※この表は病棟ごとに記載してください。有床診療所の場合は入院料等の区分が異なるためこの表の記載は不要です。

病床機能	高度急性期		急性期		回復期			慢性期			
	2階病棟 (36床)		3階病棟								
病棟名											
病床数			22	14			36				
入院基本料・特定入院料 (R3年度病床機能報告)			急1	回6			回5				
「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」の患者割合 (%)											
「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」の患者割合 (%)			30.1	26.4							
平均在棟日数			19	34							

病棟名、病床名を記載してください。  
(例)急性期100床の場合  
(1階病棟 30床急1 20床回7)  
(2階病棟 50床急1)

「Ⅰ」から番号を選択して記載してください。

Ⅱを選択した場合は、こちらに記載

＜定量的基準概要(病院)＞

① 入院基本料・特定入院料に応じて医療機能を選択

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
(高1)救命救急入院料1~4	(急1)急性期一般入院料1~7	(回1)地域一般入院料1~3	(慢1)療養病棟入院料1~2
(高2)特定集中治療室管理料1~4	(急2)特定機能病院一般病棟7対1・10対1入院基本料	(回2)一般病棟特別入院基本料	(慢2)療養病棟特別入院基本料
(高3)ハイケアユニット入院医療管理料1~2	(急3)専門病院7対1・10対1入院基本料	(回3)専門病院13対1入院基本料	(慢3)障害者施設等7・10・13・15対1入院基本料
(高4)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(急4)小児入院医療管理料2~3	(回4)小児入院医療管理料4~5	(慢4)特殊疾患入院医療管理料
(高5)小児特定集中治療室管理料	(急5)小児入院医療管理料1~2	(回5)回復期リハビリテーション病棟入院料1~6	(慢5)緩和ケア病棟入院料2
(高6)新生児特定集中治療室管理料1~2	(急6)小児入院医療管理料1~4	(回6)地域包括ケア病棟入院料1~4	(慢6)特殊疾患病棟入院料1~2
(高7)総合周産期特定集中治療室管理料	(急7)小児入院医療管理料1~4	(回7)地域包括ケア入院医療管理料1~4	
(高8)新生児治療回復室入院医療管理料	(急8)小児入院医療管理料1	(回8)緩和ケア病棟入院料1	
(高9)小児入院医療管理料1	(急9)小児入院医療管理料1~2	(回9)特定一般病棟入院料1~2	

② 上記①で急性期に分類された場合、以下に該当する時は高度急性期を選択

一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」が、「Ⅰ:56%以上」、「Ⅱ:40%以上」

③ 上記①②で高度急性期、急性期に分類された場合、以下に該当する時は、回復期、慢性期のいずれかを選択


高度急性期及び急性期に関連する医療行為(別紙参照)を全く提供していない

**4 医療機関の役割**

令和4年度、2025年度に担う役割(該当する項目に○印を記入してください)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	離島・へき地医療	周産期医療	小児・小児救急医療	在宅医療	その他
令和4年度						○	○					
2025年度						○	○					

**5 今後のスケジュール**

年度	取組内容	介護保険事業計画
令和4(2022)年度	(記入例)急性期20床を回復期へ転換、地域医療介護総合確保基金申請	
令和5(2023)年度		
令和6(2024)年度	(記入例)慢性期20床を介護医療院へ転換	
令和7(2025)年度		

\* 介護保険施設等への病床転換を予定している医療機関は、市町村等との協議予定等についても記載してください

**6 その他**

(記入例)介護療養病床20床を介護医療院へ転換するか、A病棟30床を介護医療院へ転換するか検討中である。



令和4年12月13日（火）  
令和4年度第1回始良・伊佐保健医療圏  
地域医療構想調整会議（書面開催）

<資料4>

**【協議事項 1】**

2025年に向けた具体的対応方針について  
（水間病院）



# 〇始良・伊佐保健医療圏 2025年に向けた計画書

病院用

医療機関名

水間病院

## 1 計画書の概要(地域医療構想調整会議での説明要旨)

現在、慢性期医療を中心に担っている。  
平成30年に38床を介護医療院に転換した。44床は医療療養病床として稼働している。  
関連施設に特別養護老人ホーム、養護老人ホームがある。  
肺炎、尿路感染症等の急性期疾患から、慢性期疾患に対応している。  
また、長期入院を必要とする透析医療も担っている。

## 2 自施設の現状

### (1)自施設の理念, 基本方針

理念：私達は患者さんの人権と個別性を重視し、最善の医療・福祉・在宅・介護サービスを提供し続けることを誓います。

### (2)令和3年度の診療実績

	全体 ( )床	一般病床 ( )床	療養病床 ( 44 )床
病床稼働率 (%)			93
平均在棟日数 (日)			133

令和4年度病床機能報告で報告予定の診療実績  
(令和3年4月～令和4年3月分)を記載してください。

## 3 病床機能別病床数

令和4年度病床機能報告の報告予定数を記載してください。

### (1)現状と今後の方針

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		介護保険施設等	計
					今後再開予定	今後廃止予定		
現在 (R4.7.1)				44			38	82

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟 予定	廃止 予定	介護保険施設等	計
将来 (2025.7.1)				44			38	82

### (参考)現在の療養病床数

	介護療養病床	医療療養病床		計
		経過措置適用※ を届け出ている	左記以外	
現在 (R4.7.1)			44	44

※経過措置：療養病床入院基本料等の経過措置適用

**(2)入院基本料・特定入院料による分類及び一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」の患者割合**

※この表は病棟ごとに記載してください。有床診療所の場合は入院料等の区分が異なるためこの表の記載は不要です。

病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
病棟名				東病棟
病床数				44
入院基本料・特定入院料 (R3年度病床機能報告)				慢1
「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」の患者割合 (%)				
「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」の患者割合 (%)				
平均在棟日数				

病棟名、病床名を記載してください。  
(例)急性期100床の場合  
(1階病棟 30床急1 20床回7)  
(2階病棟 50床急1)

「Ⅰ」から番号を選択して記載してください。

Ⅱを選択した場合は、こちらに記載

＜定量的基準概要(病院)＞

① 入院基本料・特定入院料に応じて医療機能を選択

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
(高1)救命救急入院料1~4	(急1)急性期一般入院料1~7	(回1)地域一般入院料1~3	(慢1)療養病棟入院料1~2
(高2)特定集中治療室管理料1~4	(急2)特定機能病院一般病棟7対1・10対1入院基本料	(回2)一般病棟特別入院基本料	(慢2)療養病棟特別入院基本料
(高3)ハイケアユニット入院医療管理料1~2	(急3)専門病院7対1・10対1入院基本料	(回3)専門病院13対1入院基本料	(慢3)障害者施設等7・10・13・15対1入院基本料
(高4)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(急4)小児入院医療管理料2~3	(回4)小児入院医療管理料4~5	(慢4)特殊疾患入院医療管理料
(高5)小児特定集中治療室管理料		(回5)回復期リハビリテーション病棟入院料1~6	
(高6)新生児特定集中治療室管理料1~2		(回6)地域包括ケア病棟入院料1~4	
(高7)総合周産期特定集中治療室管理料		(回7)地域包括ケア入院医療管理料1~4	
(高8)新生児治療回復室入院医療管理料		(回8)緩和ケア病棟入院料1	(慢5)緩和ケア病棟入院料2
(高9)小児入院医療管理料1		(回9)特定一般病棟入院料1~2	(慢6)特殊疾患病棟入院料1~2

② 上記①で急性期に分類された場合、以下に該当する時は高度急性期を選択

一般病棟用の「重症度、医療・看護必要度」が、「Ⅰ:56%以上」、「Ⅱ:40%以上」

③ 上記①②で高度急性期、急性期に分類された場合、以下に該当する時は、回復期、慢性期のいずれかを選択


高度急性期及び急性期に関連する医療行為(別紙参照)を全く提供していない

**4 医療機関の役割**

令和4年度、2025年度に担う役割(該当する項目に○印を記入してください)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	離島・へき地医療	周産期医療	小児・小児救急医療	在宅医療	その他
令和4年度	○	○	○	○			○				○	
2025年度	○	○	○	○			○				○	

**5 今後のスケジュール**

年度	取組内容	介護保険事業計画
令和4(2022)年度	(記入例)急性期20床を回復期へ転換、地域医療介護総合確保基金申請	
令和5(2023)年度		
令和6(2024)年度	(記入例)慢性期20床を介護医療院へ転換	
令和7(2025)年度		

\* 介護保険施設等への病床転換を予定している医療機関は、市町村等との協議予定等についても記載してください

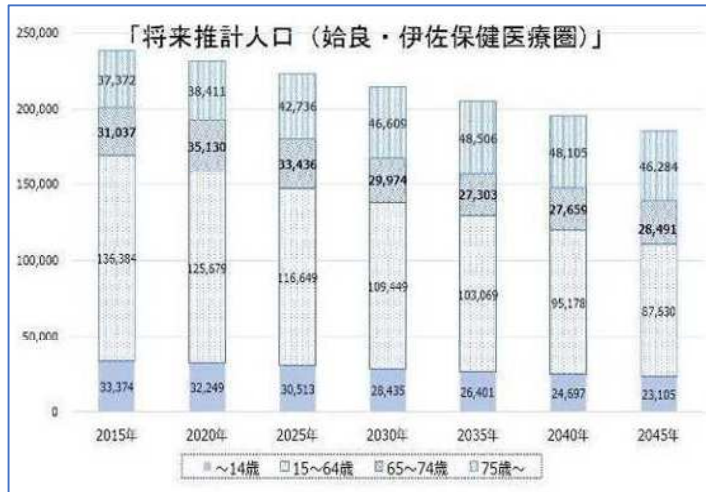
**6 その他**

(記入例)介護療養病床20床を介護医療院へ転換するか、A病棟30床を介護医療院へ転換するか検討中である。

<参考資料 1>

<資料 1-①>  
令和3年度第1回始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議 (R3.7.8)

1 始良・伊佐保健医療圏の概要等



「令和元年度 市町村別推計人口」

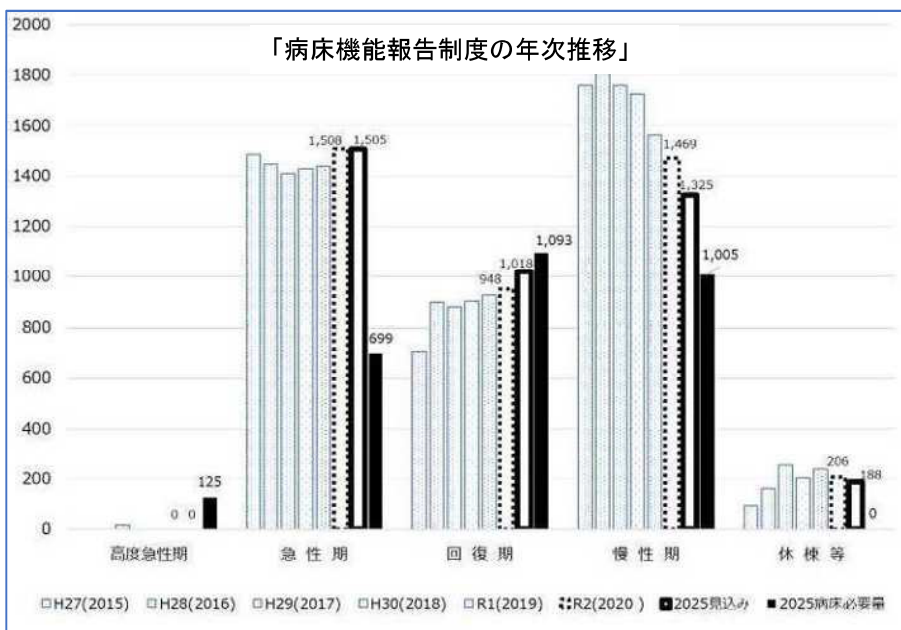
	霧島市	始良市	湧水町	伊佐市	合計
人口	124,367	76,359	9,475	24,827	235,028
高齢者人口	34,028	23,603	4,041	10,266	71,938
高齢者割合	27.6%	31.0%	42.7%	41.6%	30.6%

※1 人口・高齢者人口及び世帯数は「鹿児島県年齢別推計人口調査結果」による（令和元年10月1日現在）  
※2 高齢者の割合は、本表の人口から年齢不詳を除いた数に対する割合である。

2 始良・伊佐保健医療圏の病床機能報告制度について

病床機能報告制度の推移及び必要量との差

医療機能	病床機能報告 確定値					始良保健所独自集計		必要量		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	2025見込	2025	必要量との差	
									R2 ①-③	2025 ②-③
高度急性期	0	0	17	0	0	0	0	125	△125	△125
急性期	1,485	1,446	1,409	1,429	1,439	1,508	1,505	699	809	806
回復期	705	896	880	901	925	948	1,018	1,093	△145	△75
慢性期	1,761	1,824	1,761	1,727	1,564	1,469	1,325	1,005	464	320
休棟等	92	162	255	203	238	206	188	0	206	188
(再開予定)	—	—	—	155	199	167	—	—	—	—
(廃止予定)	—	—	—	48	39	39	—	—	—	—
介護保険施設等	—	—	—	—	—	—	126	—	—	—
計	4,043	4,328	4,322	4,260	4,166	4,131	4,036	2,922	1,209	1,114



(注)

R2 は、R2 報告に基づく始良保健所の独自集計

2025見込は、R2 報告(病院)、R1 報告(診療所)に基づく始良保健所の独自集計



地域医療構想 具体的対応方針に関する協議状況（令和4年8月現在）

＜始良・伊佐保健医療圏 病院＞

病床数は九州厚生局データ（令和4年8月1日現在）

医療機関名称	市町村	総数	一般病床	療養病床			備考
				計	医療療養病床	介護療養病床	
霧島市立医師会医療センター	霧島市	250	250	0	—	—	R3年10月合意済
オレンジ学園	霧島市	196	104	92	92	0	
国分中央病院	霧島市	150	32	118	118	0	R3年10月合意済
霧島記念病院	霧島市	168	75	93	93	0	
霧島杉安病院	霧島市	109	35	74	74	0	
国分生協病院	霧島市	129	90	39	39	0	
隼人温泉病院	霧島市	125	24	101	101	0	R4年3月合意済
協愛病院	霧島市	80	24	56	56	0	
隼人尚愛会病院	霧島市	55	55	0	—	—	
松下病院	霧島市	44	0	44	44	0	
霧島整形外科病院	霧島市	38	38	0	—	—	R3年10月合意済
国分脳神経外科病院	霧島市	38	38	0	—	—	
福山病院	霧島市	24	0	24	24	0	
霧島桜ヶ丘病院	霧島市	41	0	41	41	0	
独立行政法人国立病院機構南九州病院	始良市	425	425	0	—	—	R3年10月合意済
加治木温泉病院	始良市	270	97	173	173	0	R4年3月合意済
ザ王病院	始良市	146	0	146	103	43	R4年3月合意済
青雲会病院	始良市	136	136	0	—	—	
大井病院	始良市	119	119	0	—	—	R4年3月合意済
クオラリハビリテーション病院あいら	始良市	96	48	48	48	0	
希望ヶ丘病院	始良市	90	0	90	90	0	
加治木整形外科病院	始良市	51	51	0	—	—	
フィオーレ第一病院	始良市	26	26	0	—	—	
あいらの森ホスピタル	湧水町	43	0	43	31	12	
県立北薩病院	伊佐市	146	146	0	—	—	H30年11月合意済
寺田病院	伊佐市	98	98	0	—	—	R4年12月協議
大口温泉リハビリテーション病院	伊佐市	97	0	97	97	0	R4年12月協議
整形外科松元病院	伊佐市	72	36	36	36	0	R4年12月協議
水間病院	伊佐市	44	0	44	44	0	R4年12月協議

## 療養病床を有する病院一覧（始良・伊佐保健医療圏）

医療機関名称	市町村	総数	一般病床	療養病床		
				計	医療療養病床	介護療養病床
オレンジ学園	霧島市	196	104	92	92	0
国分中央病院		150	32	118	118	0
霧島記念病院		168	75	93	93	0
霧島杉安病院		109	35	74	74	0
国分生協病院		129	90	39	39	0
隼人温泉病院		125	24	101	101	0
協愛病院		80	24	56	56	0
松下病院		44	0	44	44	0
福山病院		24	0	24	24	0
霧島桜ヶ丘病院		41	0	41	41	0
加治木温泉病院	始良市	270	97	173	173	0
ザ王病院		146	0	146	103	43
クオラリハビリテーション病院あいら		96	48	48	48	0
希望ヶ丘病院		90	0	90	90	0
あいらの森ホスピタル	湧水町	43	0	43	31	12
大口温泉リハビリテーション病院	伊佐市	97	0	97	97	0
整形外科松元病院		72	36	36	36	0
水間病院		44	0	44	44	0

九州厚生局データ(令和4年8月1日現在)